

i SHARE

2022

Jan.

謹賀 新年

Management Information

- ・新体制 & 新サービスコンセプト発表

Special Feature

- ・今話題のゼロトラストとは？

About INFINITY / improve

- ・サイトリニューアルのお知らせ
- ・Zoho 新機能の紹介

Technical Information

- ・Microsoft 365 Premium 紹介

アフターコロナは、どのように企業を成長させていきますか？

新年あけましておめでとうございます。コロナ発生より約2年、日本では少し収束してきた感がありますが、世界中が取り組んでもこれだけの期間克服できないという事態は前代未聞の出来事だったと思います。

昨年、マイクロソフトを退職された澤円（さわ まどか）氏の講演があり、そこで「コロナ以前に戻ると思っている人がたくさんいるが、もうその考え方は捨てたほうがいい。既に世界は変わっていて、変わった世界に対応していくことを考えるべきだ」と話していました。私もどこかで以前に戻ることを期待していた一人でしたので、改めてこれからの会社の在り方や、お客様へのサービスを考え直すきっかけとなりました。

コロナ禍の中、ありがたいことに私たちIT業界は大きな痛手はなく、むしろ引き合いは増えたほうです。その反面、競合他社が増え、様々なテレワーク環境を支えるリモートツールやサービスが台頭してきました。

危機感もある一方、

- ・世の中の認識が変わり、ITに対する期待感の増大
- ・選択肢の多さからどのツールが自社に適しているかの相談が増加
- ・各自のITリテラシーが高まり、IT活用にフォーカス

が予想され、IT活用の需要が増えていくこと、より私たちの役割が重要になっていくことを感じています。

そこで、中期計画の一環としてサービスコンセプトを一新し、より一層中小企業が成長するためのIT活用支援ができるように私たち自身が変革をしていこうと決意しました。

①TUNAGARU（ツナガル/繋がる）

- リモートワーク / Microsoft 365 / シンククライアントなどのインフラサービス

②SASAERU（ササエル/支える） - 24時間365日リモートサポート / 改善提案

③HIROGARU（ヒロガル/拡がる） - デジタルトランスフォーメーション導入支援

上記3つのサービスを掲げ、新しいサービスを随時追加していこうと計画しています。

今まで「IT110番」としてご利用いただいていたサポートサービスは『ササエルサポート』に変更し、受け身ではなく、お客様のビジネス環境を積極的に支えるサポートに進化させます。また、クラウド環境だけでインフラ/IT環境を構築する仕組みがかなり進化しているため、「Microsoft 365」を中心に、「Azure（マイクロソフトのクラウドインフラ）」でも環境を提供できるように、2021年後半からマイクロソフトのパートナー技術担当と連携し、『ゼロトラスト（※後述）』を考え方の中心においたインフラ/セキュリティ環境のサービス提供を準備しています。

そして、支えて下さる皆様のおかげでインフィニティは2022年に14期目、インプルーブは24期目に入ります。10周年の時は代表交代のバタバタがあり何もできなかったため、2023年の15周年には、お客様やスタッフへの感謝の気持ちを込めた企画を考えていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 インフィニティ/インプルーブ
代表取締役社長 大畑 祐貴

インフィニティ新体制

以前ご紹介した役割制度ですが、

- ・人数が少ない中での運用に限界があった
- ・それぞれの意識/スキルにばらつきがあり、意識改革を先に行う必要があった

という理由で、14Thから新しい体制へシフトすることにしました。

【ステップアップ役割制】



それぞれ業務を超えて、

- ・CEO/会社の考え & 方向性への理解と共感
- ・やる気と責任と影響力
- ・スタッフの成長支援

上記を理解/実践できるメンバーにより上位の役割を担う制度へ変更しました。

長くマネジメントは役員だけで行ってきましたが、マネージャーまでをマネジメント部門とし、考え方や意識の共有を重点的に行い、より多くのスタッフがワクワクして働ける環境を目指していきます。

【チーム体制】

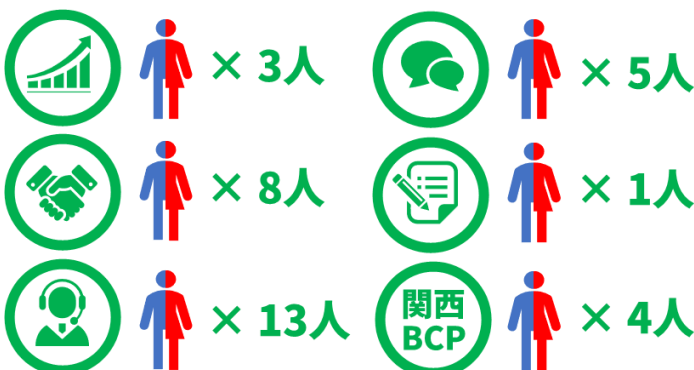
チームの体制は、5つのチームに分かれ、サービスコンセプトに合わせた体制に変更。従来のManagementをチームとして拡張し、サービスコンセプトに合わせた、

TUNAGARUチーム：営業 / プロジェクト

SASAERUチーム：サポート

HIROGARUチーム：マーケティング / DX支援

3つのチームでお客様をサポートしていきます。



【人財戦略】

3年間で従業員数30人超えを目指し、サポート体制強化として関西BCP事務所の設立を目指します。

新サービスコンセプト発表

冒頭でもご紹介しましたが、サービスを新しく3つのコンセプトに分けます。



ツナガル TUNAGARU

いつでもどこでもビジネス環境に繋がる環境を

1つ目の「TUNAGARU（ツナガル/繋がる）」は、ビジネス環境に繋がるインフラ構築サービスです。従来は「OfficeCloud（オフィスクラウド）」という名称で、シンクライアント&サポートを提供しておりました。シンクライアントは便利な反面、サーバーを導入する必要がある関係上、初期費用が嵩みます。もっと多くの中小企業にサービスを提供したいという思いから、サーバーを導入しない環境とクラウドのみで運用を行う環境の2プランを新たに追加し、3つのプランから選択できるようにしました。



今の環境にそのまま繋がる ゼロトラストテレワーク

今利用しているパソコンに
使い勝手はそのままに
外出先/自宅からリモート接続

コスト：安価

導入期間：2週間

管理：今のまま

セキュリティ：低

利便性：高



クラウドですべてを完結 Microsoft 365

ログインID管理からOffice &
メール & セキュリティ強化まで
すべてをMicrosoft 365で実現

コスト：中程度

導入期間：1カ月

管理：一元管理

セキュリティ：高

利便性：中



シンクライアント一元管理 OfficeCloud

サーバーにデータ & アプリ &
デスクトップをすべて一元管理
トータルコスト削減を実現

コスト：高価

導入期間：2~3カ月

管理：一元管理

セキュリティ：高

利便性：高

もちろんできることはそれぞれ違いますが、少人数からでも導入可能なサービスに変更し、組み合わせることでより便利になる仕組みに構成しています。ゼロトラストに関しては「Special feature」で、Microsoft 365 に関しては「Technical Information」で詳しくご紹介します。

既にオフィスクラウドを導入されているお客様もお気軽にお問合せ下さい。



ササエル SASAERU

あなたのビジネスを24時間365日支えるサービス

2つ目の「SASAERU（ササエル/支える）」は、24時間365日リモートサポートサービスです。これまでは「IT110番」という名称で提供していましたが、受け身でトラブル対応を行うだけではなく、もっと便利に、もっと身近に、もっと貴社のビジネスを支える存在になりたいという思いから、ササエルというサービス名に統一をしていきます。貴社を支える一員としてIT知識だけではなく、広い視点のスキルを身に付け、お役に立てるよう精進していきます。

※弊社サイトのリニューアルに伴い、サポート用チームビューワーのダウンロード方法も変更になります。一時的にご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願い致します。



ヒロガル HIROGARU

デジタルトランスフォーメーションでビジネスが**広がる**

2つ目の「HIROGARU（ヒロガル/広がる）」は、新たな挑戦として、デジタルトランスフォーメーション（DX）の導入支援サービスを行います。アフターコロナで差をつけていくためにはIT活用は欠かせない戦略となります。その戦略立案から導入、サポートまでを担えるように、様々なクラウドツールを提供できるように現在準備をしています。第一段階はすでに弊社で利用している、下記サービスからとなりますが、順次提携先を増やし、提供できる幅を広げていき、お客様のビジネスが広がるお手伝いを行います。



Microsoftクラウドサービス
Office365を利用すれば
同時編集/チャットなどを
利用して生産性を劇的に
上げていきます。



請求書受領から
電子帳簿保存法対応まで、
バックオフィスの生産性を
上げるお手伝いをします。

オールインワンで顧客管理
からマーケティングオート
メーションまで、業務の
生産性を劇的に上げる
Zoho導入支援をご提案。



bixid（ビサイド）は、様々
な会計ソフトからデータを
取得し、簡単/安価に経営分
析ができる財務分析ツール。
経営基盤の見直しのお手
伝いをします。



ご興味がある項目があれば、是非インフィニティ営業担当までご連絡ください！

最新のセキュリティ概念 ゼロトラストネットワークを紹介

皆さん、「ゼロトラストネットワーク」という言葉をお聞きになったことはありますか？
ゼロトラストとはトラスト（信頼）がゼロ。つまり、「何も/誰も信頼しない」ことを前提に対策を講じるセキュリティの考え方で、2010年に米国の調査会社Forrester Research社が提唱した概念です。

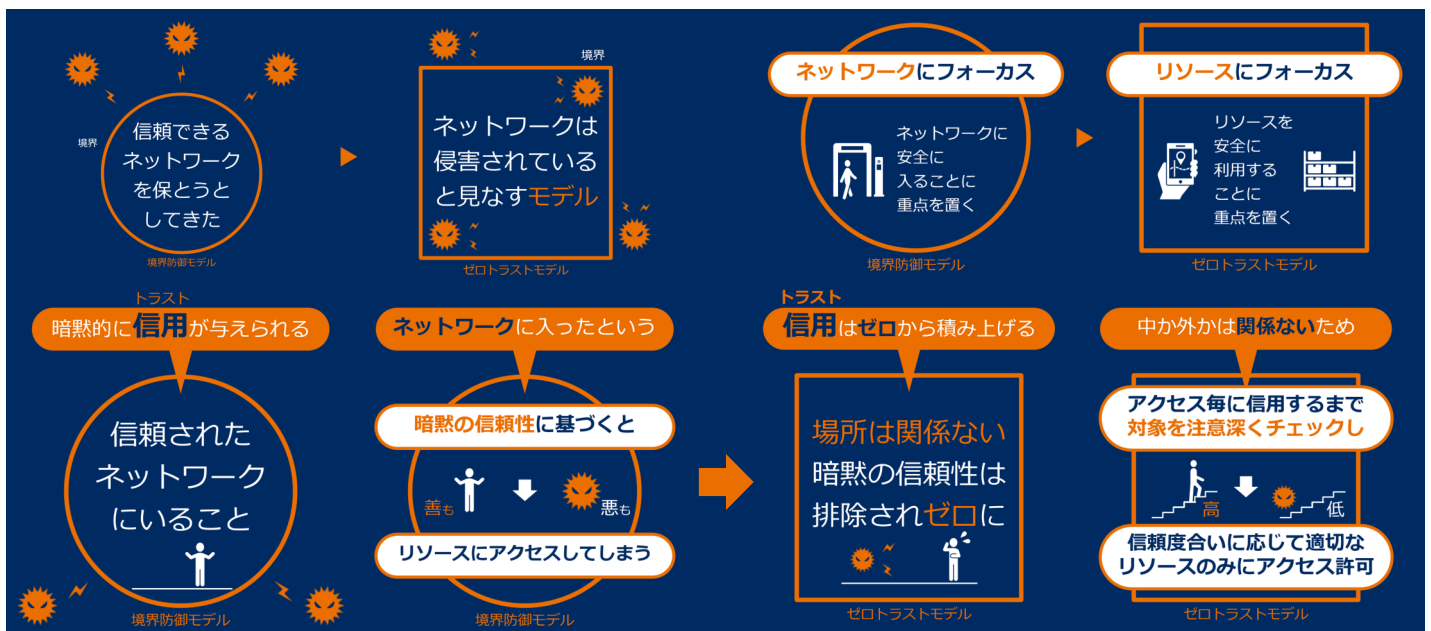
その後、Googleが自社の仕組みをゼロトラストを基盤にした「Beyond Corp」として作り上げて運用していたり、Microsoftが提供しているMicrosoft 365などのサービス概念にも利用されるなど、多くの大手サービスに取り込まれています。また、近年コロナ禍のテレワーク/クラウドサービス利用増加に伴い、様々なサービスが提供され、中小企業が利用できるサービスも増えてきています。そこで今回は、ゼロトラストの概念の紹介や、導入が広がっている背景、弊社が提供できるサービスのご紹介をさせていただきます。

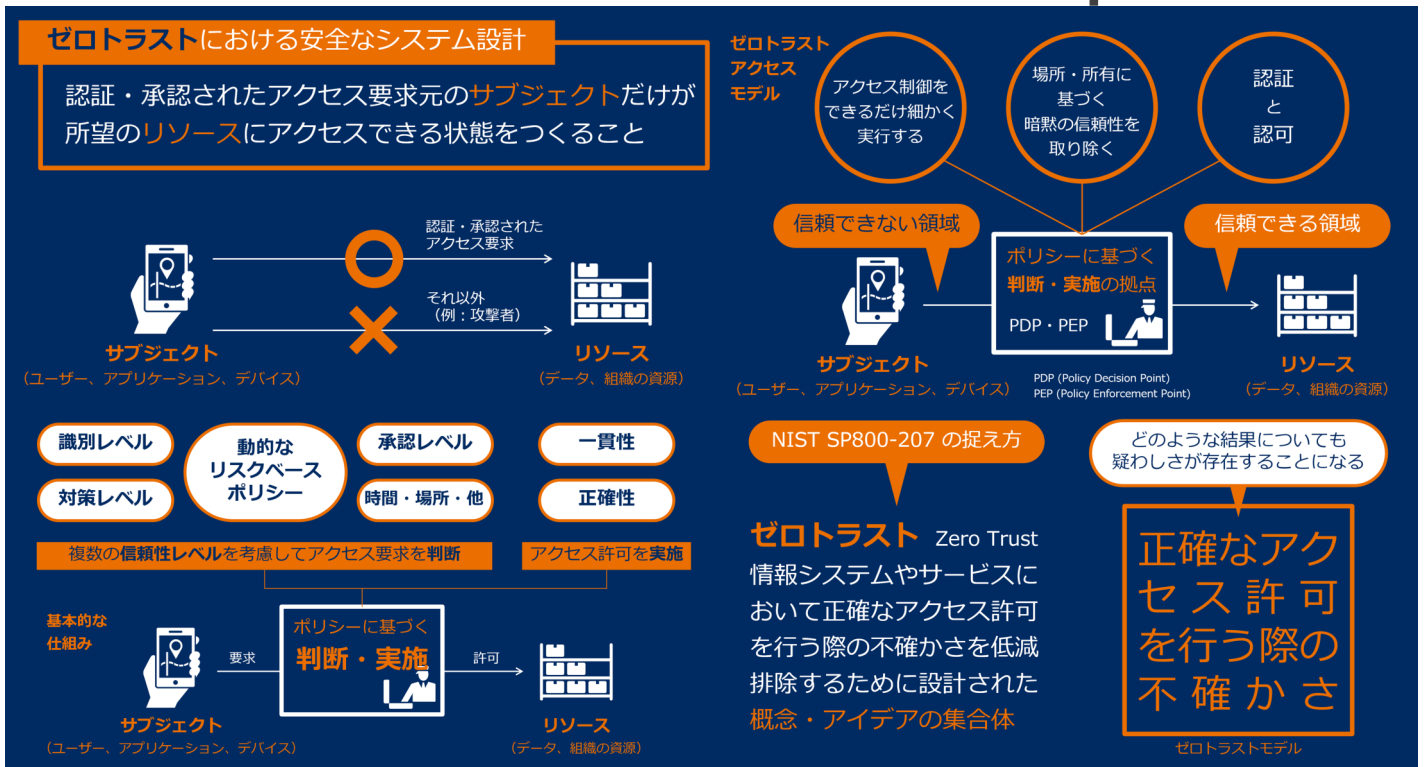
✓そもそもゼロトラストとは何か？

ゼロトラストはセキュリティの概念で、単体の製品を指しているわけではありません。複数のサービスを組み合わせるソリューションです。今までのセキュリティ概念は、いわゆる「境界防御モデル」と言われます。社内ネットワークや自社の社員や端末は安全で、外部からの攻撃に対して対策を行い、守る仕組みでした。

それがテレワークやクラウドサービス利用が増えた「ハイブリッドワーク」の働き方により、社内/外の考え方が適用できなくなりました。また、今回のコロナと同様に、現在のサイバー攻撃は潜伏型のものもあり、自社端末でも感染している可能性が高くなり、定期的ではなく毎回セキュリティチェックを行う必要性が高まってきました。

そこでゼロトラストでは「境界防御モデル」のようにネットワークにフォーカスをするのではなく、リソースにフォーカスすることで、ユーザー/人、デバイス、アプリケーションなどを都度監視し、許可されたものだけが許可されたリソース（データ/組織の資源）にアクセスできる仕組みを実現することを目的にしています。





✓ゼロトラストが注目されている背景

ゼロトラストが近年急激に注目されているのは、下記のような背景があります。

①クラウドサービス利用増加

今では当たり前のように利用されているクラウドサービス。2018年の時点で約60%の企業がなんらかのクラウドサービスを利用していたようですが、コロナ禍で更に利用が促進されています。クラウドサービスはデータの保管場所が外部となるため、そもそも「境界防御モデル」では対策ができません。

②テレワーク/ハイブリッドワークの増加

働き方改革やコロナ禍の対策として、多くの企業でテレワークが導入されました。テレワークは会社の端末を外部に持ち出したり、社員が個人で所有する端末を利用 (BYOD) したり、外部から社内ネットワークにアクセスします。社内ネットワークと社外の境界線が曖昧になるため、従来のセキュリティ対策では運用できなくなります。

③モバイルなどデバイスの多様化

パソコンだけではなく、スマホ/タブレットを利用する機会が格段に増えています。Windows中心のセキュリティ対策だけではなく、Mac / iOS / Android などの多様なOSに対して統合的に対策する必要が出てきています。

④シャドーITによるセキュリティ問題

シャドーITは、私物であるスマホやノートパソコン、クラウドサービスを「企業の許可を取らず業務に利用」することです。企業でハイブリッドワークができる環境を用意していないと、従業員は悪意からではなく、仕事を円滑にするために利用するケースが増えています。許可されたモノだけがアクセスできる仕組みを用意する必要があります。

⑤サイバー攻撃 / 内部からの情報流出増加

クラウドサービスの利用増加やIT活用が増えるに従い、その環境を狙うサイバー攻撃もさらに増えていきます。また、従業員などからの情報流出も毎年脅威トップ10に入るそうです。現役従業員のセキュリティ教育や退職した社員のアクセス権限削除などをしっかりと行う必要とともに、そもそも監視できる仕組みが必要になります。

これからの時代、クラウドサービスを抜きにしてはIT環境の構築はできません。今の時代にあったセキュリティ対策を改めて企業として考える必要に迫られています。

✓ゼロトラストを実現するための7つの要件

①ネットワーク・セキュリティ

社内ネットワークは端末ごとに承認を行い、未許可の端末はアクセスを拒否します。これは、従来のセキュリティモデルである「社内ネットワークは安全、社外ネットワークは危険」といった考えと異なり、ゼロトラストでは「社内ネットワークさえも安全な場所ではない（信用しない）」という考えに基づいているからです。

②デバイス・セキュリティ

社員が利用する機器を管理し、管理しているデバイスのみアクセスを許可、または、セキュリティに関しても資産管理ソフトによってバージョン管理を行う事で、利用しているデバイスのセキュリティ状態を常に高い状態に維持します。

③アイデンティティ・セキュリティ

企業によって判断が分かれるものの、アクセス時のログインID・パスワードを期間ごとに変える事や、業務に必要な最小限のアクセス権しかもたせないといった考えもアイデンティティ・セキュリティの1つです。また一度認証が通った後も継続して認証を行う事もゼロトラストネットワークにおけるアイデンティティ・セキュリティの考え方です。

④ワークロード・セキュリティ

全てのシステムを監視（クラウドサービスの利用状況を可視化/制限）することで思わぬ脅威の侵入を防ぎます。具体的には、情報システム管理者が把握していないIaaSやPaaSを社員が導入・利用した場合に自動で検知し、利用者への警告、情報システム管理者への通知を行う事で、把握していないクラウドサービスによる損失を未然に防ぎます。

⑤データ・セキュリティ

機密保持の監視と保護、内部情報の持ち出し、外的要因の情報漏洩の防止を行います。実際には社内におけるセキュリティ教育の実施を行う事で機密保持・内部情報の扱いについて、認識を高め、外部ツールなどによって機密情報の監視と保護、外的要因の情報漏洩防止を行います。

⑥可視化と分析

セキュリティ状態を可視化し、攻撃を受けた際は内容の検出や分析、対応を行います。ただし、現実的には社内リソースの問題や近年のセキュリティ脅威は高度化しているために24時間365日体制でネットワークやデバイスの監視を行う（SOC「Security Operation Center」）企業に外部委託を行うケースが多くみられます。

⑦自動化

セキュリティの監視・運用を効率的に行うためには自動化は避けて通れません。連携のとれた即応体制を実現するためにもワークフローやプロセスの自動化を行い、実際に問題が発生した場合は、デバイスの隔離、脅威を排除するための修復などのアクションを自動実行することで、問題発生時の素早い解決を実現します。

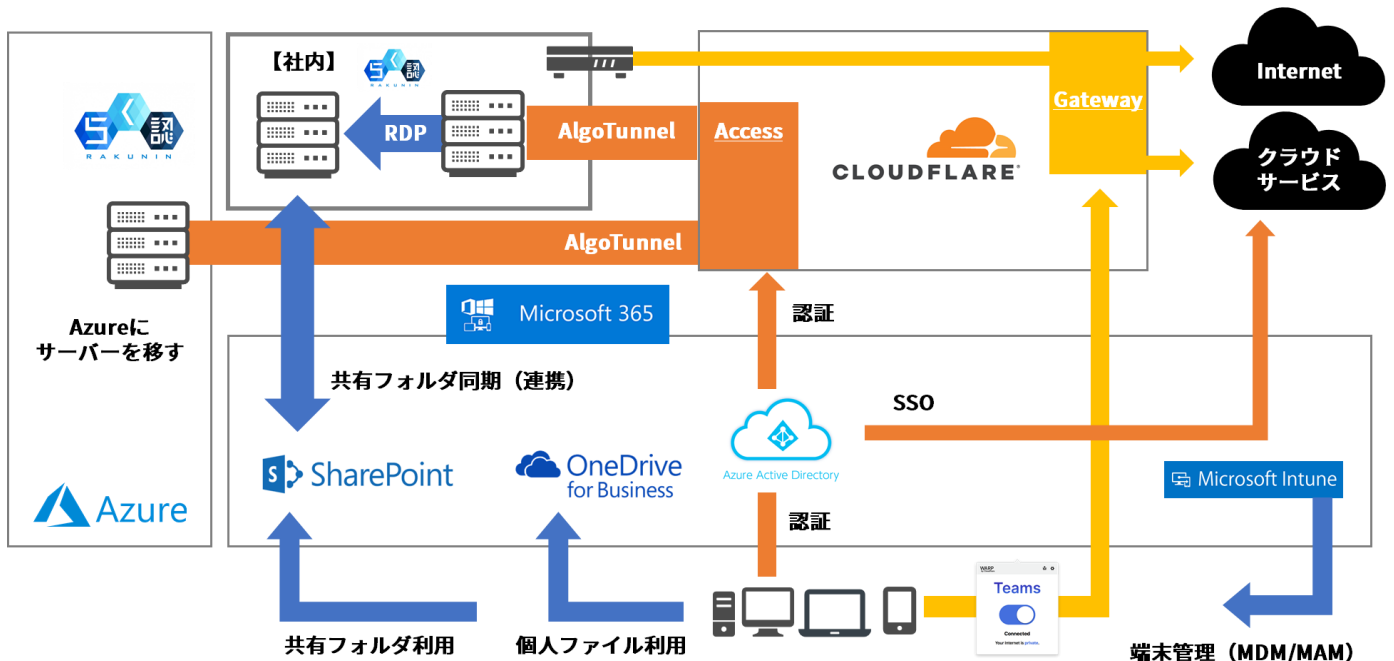
✓ゼロトラストを実現するサービスのキーワード

- ・ IAM : Identity & Access Management (IDとアクセス管理)
- ・ IAP : Identity-Aware Proxy (アイデンティティ認識型プロキシ)
- ・ SWG : Secure WEB Gateway (セキュアWebゲートウェイ)
- ・ SIEM : Security Information and Event Management (セキュリティー情報イベント管理)
- ・ CASB : Cloud Access Security Broker (クラウドアクセスセキュリティブロッカー)
- ・ MDM : Mobile Device Management (モバイルデバイス管理)
- ・ EDR : Endpoint Detection and Response (エンドポイントでの検出と対応)
- ・ DLP : Data Loss Prevention (情報漏洩防止)
- ・ SASE : Secure Access Service Edge (ネットワークセキュリティコンポーネントサービス)
- ・ SDP : Software Defined Perimeter (ユーザ/デバイス認証を通じてアクセス制御する仕組み)

上記は説明しだすとかなり複雑になってくるため、こんなキーワードがあるくらいで思ってください (笑)

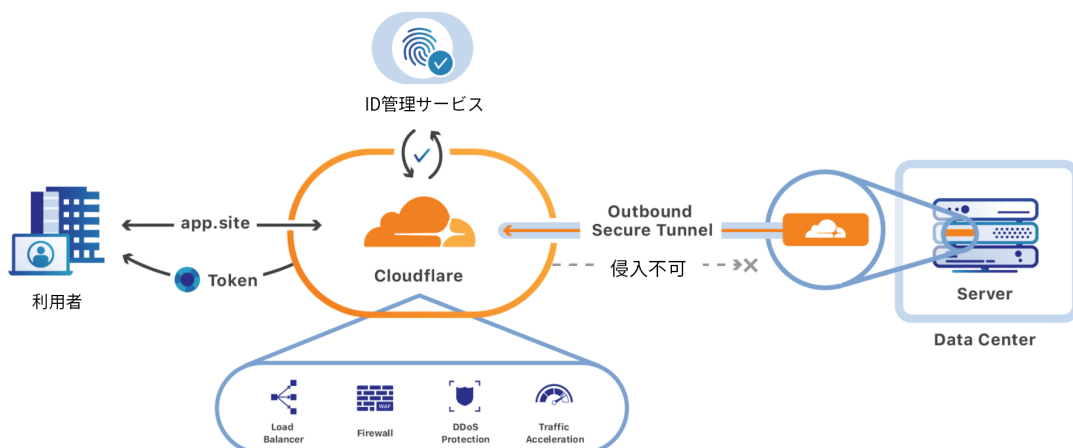
インフィニティのゼロトラストネットワークへの取り組み

インフィニティの自社内でもゼロトラストネットワークへの移行を計画しています。弊社では、「Microsoft 365 E3」「Cloud Flare」という2つのサービスを基盤とし、またMicrosoft Azure と自社サーバーとの連携、クラウドサービスへのセキュリティ強化のため下記のような構成に徐々に移行をしています。



インフィニティではTUNAGARUサービスでゼロトラスト：Cloud Flare導入支援サービスを開始

Cloud Flare (クラウドフレア) は、もともとCDN (コンテンツデリバリーネットワーク) サービスというWEBサイトやサービスをセキュア/高速にアクセスできるサービスを提供していましたが、そのインフラを利用して「for Teams」というVPN (バーチャルプライベートネットワーク) を使わずに社内やクラウドサービスにアクセスできる仕組みを提供しています。VPNは、従来安全と言われた暗号化通信を使って社内ネットワークにアクセスする仕組みで、前述した「境界防御モデル」のセキュリティです。VPNを利用すると社内ネットワーク全体にアクセスができてしまうため、リスクを抱えているのですが、Cloud Flareを利用したアクセス方法の場合、対象ユーザーごとに、証明書をインストールした端末限定で、接続したいサービスのみアクセスさせることができるので、外部接続方法のセキュリティを大幅に引き上げることが可能になります。また、従来のVPNのように、ルーターなどのネットワーク機器を入れ替えることなく導入ができるため、ネットワークを止めたり、環境変更をせずに導入できるメリットがあります。弊社ではこのCloud Flareを利用したゼロトラスト型の社内接続環境導入サービスを2022年1月より提供を開始します。是非お問い合わせください♪





SASAERUリモートサポートツール (Teamviewer) ダウンロードはこちらをクリック！

中小企業を成長させるIT活用を

全国5000ユーザー以上を支える24時間365日リモートサポート

【お問い合わせ】 受付時間9時-18時（土日祝日を除く）：TEL 052-228-0417

お問い合わせ >

新しいサービスの開始にあたり、会社サイトをリニューアル致しました。それに伴い、お客様にダウンロードしていただいている「Teamviewerサポートツール」は、下記の2パターンのダウンロード方法になります。

サイト上部の「SASAERUリモートサポート」からダウンロード

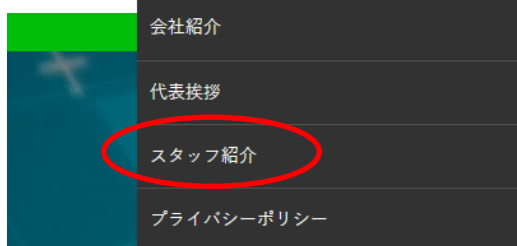
サービス ▾ 会社紹介 ▾ 導入事例 採用情報 お客様専用サポートサイト **SASAERUリモートサポート** お問い合わせ

SASAERUリモートサポートツール (Teamviewer) ダウンロードはこちらをクリック！

緑色のバーをクリックしてダウンロード ※文字の部分でなくても可

ここ数年、会社サイトの大きなリニューアルはしていませんでしたが、サポートサイト同様、新しい情報の発信や会社としての動きなどの発信をしていきます。第一弾として、弊社スタッフの紹介ページを作成しています。

サービス ▾ 会社紹介 ▾ 導入事例 採用情報 お客様専



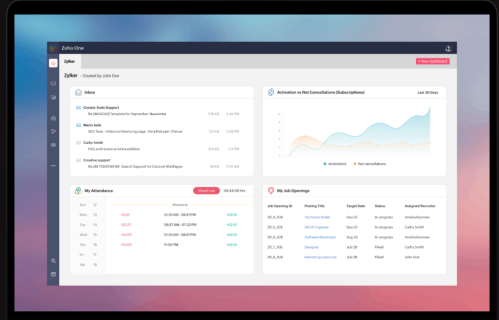
スタッフ紹介

インFINITYでは、それぞれのスタッフの特色を知っていただくことで、もっと気軽に連絡をいただけるように、随時スタッフ紹介動画をYoutubeにアップしています。





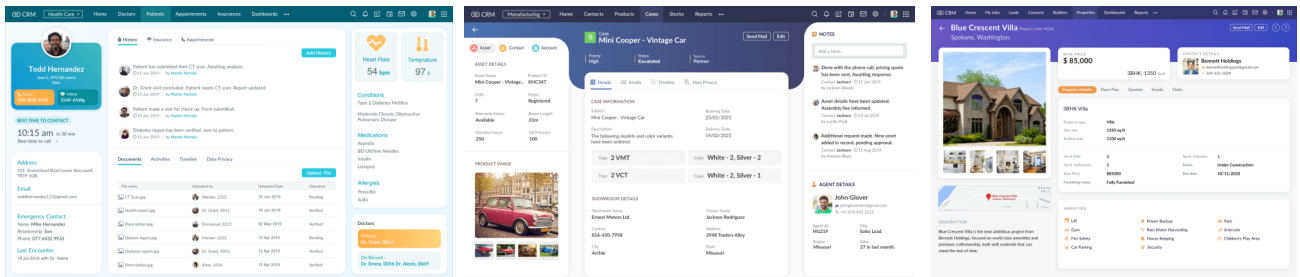
全てが新しくなった 統合型ビジネスOS



2021年11月、Zohoの統合サービスである「Zoho One」がリニューアルされました。今までは各アプリを単体で利用する使い方でしたが、サイドバーで画面を切り替えられるようになり、まさしく統合型サービスにふさわしくなりました。トップページのダッシュボードには各アプリの通知がまとめられ、各アプリ画面に遷移しなくても情報確認ができます。

また、各アプリ内にある情報の横断検索や、デバイス管理機能によるセキュリティ強化、組織としての独自辞書機能など、かゆいところに手が届くような機能追加がされています。

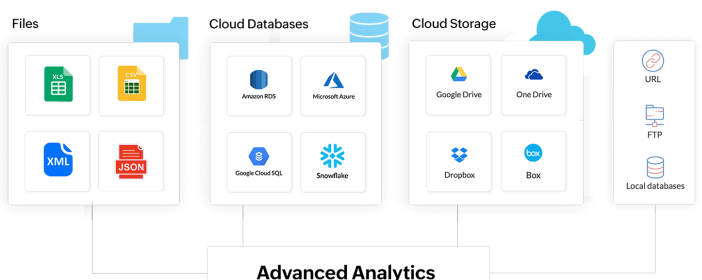
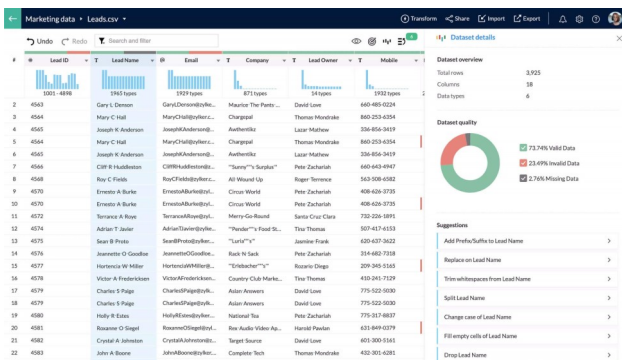
CRMには、表示画面カスタマイズ機能「Canvas（キャンバス）」が搭載され、やや簡素だった見た目が、File Makerのようなグラフィカルなデザインに変更できるようになったため、利用者の利便性が大幅に向上しました。



さらに、新たに5つのアプリが価格はそのまま利用できるようになりました。

- ① Commerce : eコマースサイトの構築/データ分析ツール
- ② Team Inbox : 共有メールに対する担当割り当てや進捗管理ができるツール
- ③ Lens : スマホなどのモバイルカメラを利用したAR（拡張現実）サポートツール
- ④ Learn : マニュアル管理やe-ラーニングを構築できるツール
- ⑤ Data Prep : AIを利用したデータクレンジング/データ加工ツール

特に、⑤Data Prepはデータ分析のもとになるデータを加工するためのツールで、非常に強力なツールです。CSVやデータベースの膨大なデータを取り込み、AIが整合性を分析し、不要なデータのフィルタリングや分割などの加工が簡単にできてしまいます。さらに作成したデータをBIツール（Analytics）と連携することで、リアルタイムデータ分析が行えるようになり、組織の戦略立案/分析に大きく貢献できるツールに進化しています。





Microsoft 365

マイクロソフトの主クラウドサービス
中小企業向けに強化された
Business Premiumを紹介

マイクロソフトの今後の主クラウドサービスであるMicrosoft 365。企業名をサービス名に組み込んだブランディングから、これからかなり力を入れていくことが想像できます。Microsoft 365は、従来のOffice 365の機能に加えて、セキュリティ機能や仮想Windowsに繋げる権利など様々な付加価値が追加されています。今回は、中小企業向けのBusinessシリーズに新たに加わったプラン：Premiumについてご紹介いたします。

Office 365 からプラン名が変更になりました

Office 365 Business Essentials

クラウド サービス



Microsoft 365 Business Basic

クラウド サービス

Office 365 Business Premium

クラウド サービス、デスクトップ アプリ



Microsoft 365 Business Standard

クラウド サービス、デスクトップ アプリ

Microsoft 365 Business

クラウド サービス、デスクトップ アプリ、
高度なセキュリティ

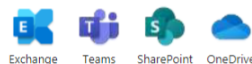


Microsoft 365 Business Premium

クラウド サービス、デスクトップ アプリ、
高度なセキュリティ

Microsoft 365 Business Basic

クラウド サービス



Microsoft 365 Business Standard

クラウド サービス、デスクトップ アプリ



Microsoft 365 Business Premium

クラウド サービス、デスクトップ アプリ、
高度なセキュリティ



Premiumでは、従来の365機能に加え、下記の5つのサービスが追加されました。

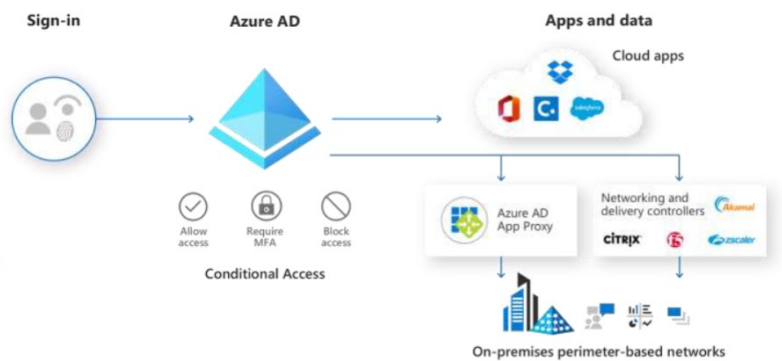
- ①Intune
- ②Azure Information Protection
- ③Defender for Business（2022年から提供予定）
- ④条件付きアクセス
- ⑤Windows Virtual Desktop（仮想デスクトップへのアクセス権利）

今まで単体で購入でき、大企業向けのEnterpriseシリーズに付加されていた機能がBusinessでも利用できるようになり、よりセキュアにクラウド環境へアクセスできるようになりました。

✓ゼロトラストのID管理にも利用される：Azure Active Directory

Azure Active Directoryは365 シリーズのすべてに利用されているID管理基盤です。プランによって、利用できる機能が変わりますが、365へのアクセスだけではなく、Windowsパソコンのログインにも利用が可能です。また、様々なクラウドサービスとID連携が可能で、SSO（シングルサインオン）機能を利用することで、従業員には365のアカウント/パスワードだけを伝えるだけで、利用しているクラウドサービスへのログインが可能となります。

- ▶ 「どこで、いつ、だれが」 Office アプリにアクセスするかを条件付きアクセスで制御
- ▶ 多要素認証でパスワードの喪失や盗難を防止
- ▶ ネットワークへの広範なアクセスを提供するのではなく、アプリ プロキシで従業員がオンプレミス アプリにリモートからアクセスするのを許可¹



✓サイバー脅威からユーザーを保護：Advanced Threat Protection

Exchange（メール）、Teamsなどをリアルタイムにスキャンし、添付ファイルやドキュメントに潜むマルウェアを検出し、データを保護する機能やフィッシング詐欺などのサイトへのブロック機能などを搭載しています。

- ▶ ATPの安全なリンク機能によってメールや Teams をリアルタイム スキャン、悪意のあるリンクから保護
- ▶ ATPの安全な添付ファイル機能により、AIを活用したスキャンを実行し、メールの添付ファイルや Teams と OneDrive の共有ドキュメントに潜むマルウェアを検出
- ▶ ATPのフィッシング詐欺対策でなりすましやスプーフィングから保護
- ▶ Microsoft Defender ウイルス対策で Windows デバイスをランサムウェアなどの疑わしいプロセスから保護



✓仮想Windowsにリモートデスクトップアクセス：Windows Virtual Desktop

Azure上に構築したWindows にリモートデスクトップでアクセスできる権利が付与されます。ただし、仮想PCはスペックや容量、台数、通信量によって従量課金されますので、しっかりした計画が必要です。

- ▶ スケーラブルで常に最新の Windows 10 のマルチセッション エクスペリエンスを提供
- ▶ Office 向けに最適化
- ▶ RDS デスクトップやアプリを移行してライセンスを簡素化、コストを削減
- ▶ 数分で展開とスケーリングが可能。Azure Portal の統合管理インターフェイスで管理
- ▶ Windows、Android、Mac、iOS、HTML 5 などのエンドユーザー デバイス プラットフォームをサポート



✓MDM (モバイルデバイスマネジメント) 機能も搭載 : Intune

Intuneは、デスクトップ/ノートパソコン/タブレット/スマホの管理ができ、最新のOSになっているかをチェックしてセキュリティポリシーにあった状態に保ち、必要なアプリを配信できる、万が一紛失してしまった場合はデータを削除する機能などを備えています。また個人所有デバイスを利用するBYODなどにも対応し、デバイスではなくアプリを管理するMAM機能も搭載しています。

リモートワークが増える中、MDM/MAMは必須のツールになります。

モバイル デバイス管理 (MDM)

条件付きアクセス:
会社所有デバイスへのアクセスを制御



管理するデバイスを登録

設定、証明書、プロファイルを提供

デバイスのコンプライアンスをレポート、測定

企業データをリモートでデバイスから削除

モバイル アプリケーション管理 (MAM)

条件付きアクセス:
個人所有デバイス上でどのアプリが業務のメールとファイルへのアクセスに使用できるかを管理



モバイル アプリをユーザーに公開

アプリの構成と更新

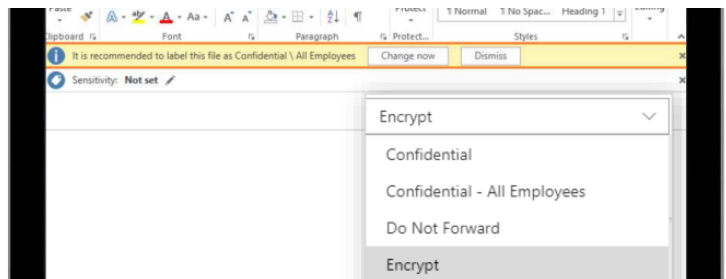
アプリのインベントリと使用状況を報告

モバイル アプリ内の企業データを保護、消去

✓ファイル自体にアクセス権を適用してデータを保護 : Azure Information Protection

通常、Windowsの機能ではサーバーやパソコン自身でファイルを扱う場合だけアクセス権が適用できます。そのため、メールで送るなどするとアクセス権がなくなりますが、Azure Information Protectionを利用すれば、メール転送/印刷/閲覧自体を制御することもでき、外部に送信した後も閲覧を禁止したりなどのデータ保護機能が利用できるようになります。

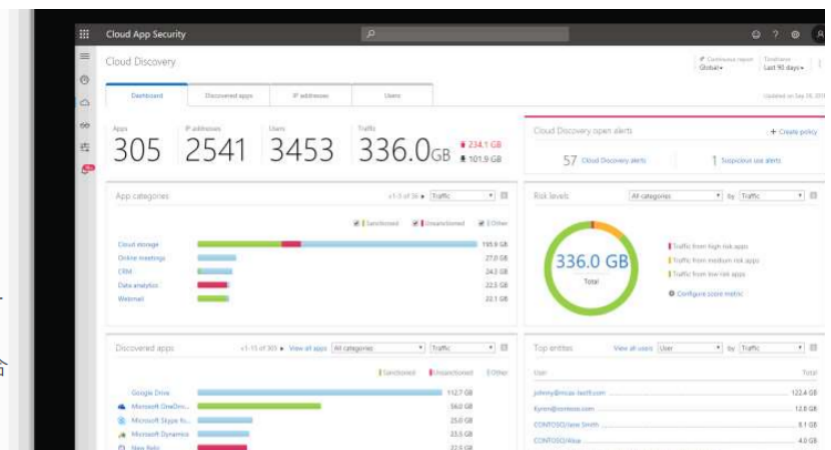
- ▶ 従業員以外によるメールの転送、印刷、閲覧を制御可能
- ▶ 従業員以外によるドキュメントの編集、印刷、閲覧を制御可能。アクセスを無効化することもできる
- ▶ ファイルやメールを別の場所に移動しても同じ制限や保護が適用される



✓シャドーITを洗い出す : Cloud App Discovery

会社で利用しているクラウドアプリの使用状況から、会社として許可していないシャドーITを洗い出し、利用状況の分析や通信状況などを統合的に管理することが可能になります。

- ▶ クラウド アプリの使用状況からシャドウ IT のリスクを把握
- ▶ 16,000 以上のクラウド アプリのリスク評価を基に自社の SaaS アプリのセキュリティを理解
- ▶ 使用パターンを理解し、高リスクのユーザーを特定。さらなる分析のためにデータをエクスポート
- ▶ IT 統制下に置くアプリケーションを見定め、統合してシングルサインオンとユーザー管理を実現



✓今ならキャンペーンで還元も！

2022年3月31日までに Microsoft 365を導入されたお客様向けに、お得な導入支援キャンペーンも開催されています。

マイクロソフトのキャンペーンのため、購入後にマイクロソフトに申請を行うとキャッシュバックがされます。



**我が社
「ハイブリッド」365!**

導入支援キャンペーン

世界中で支持されている安全・安心のハイブリッドワークツール Microsoft 365
今ならお得なキャッシュバック 1,000社
限定

Microsoft 365 Business Basic	Microsoft 365 Apps for Business	Microsoft 365 Business Standard	Microsoft 365 Business Premium
<p>最大 60万円 キャッシュバック</p> <p>購入1シートあたり3,000円のキャッシュバックとなります</p> <p>対象条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規購入される方(新規テナント作成) 試用目的のため有償版10シート以下利用の方 無償トライアル版のみを利用の方(シート数制限なし) 1年間以上の継続利用が必要となります 	<p>最大 80万円 キャッシュバック</p> <p>購入1シートあたり4,000円のキャッシュバックとなります</p> <p>対象条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規購入される方(新規テナント作成) 試用目的のため有償版10シート以下利用の方 無償トライアル版のみを利用の方(シート数制限なし) 1年間以上の継続利用が必要となります 	<p>最大 100万円 キャッシュバック</p> <p>購入1シートあたり5,000円のキャッシュバックとなります</p> <p>対象条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規購入される方(新規テナント作成) 試用目的のため有償版10シート以下利用の方 無償トライアル版のみを利用の方(シート数制限なし) 1年間以上の継続利用が必要となります 	<p>最大 200万円 キャッシュバック</p> <p>購入1シートあたり10,000円のキャッシュバックとなります</p> <p>対象条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規購入される方(新規テナント作成) 既存契約からアップグレード、シート追加される方 無償トライアル版のみを利用の方(シート数制限なし) 1年間以上の継続利用が必要となります

購入期間
2021年 7月1日(木)～ 2022年 3月31日(木)
[応募期限] 2022年4月8日(金)まで(消印有効) 郵送にて受付

※購入が複数製品にわたる場合は購入数が多い製品の上乗額が適用されます。

✓是非導入をご相談ください！

Microsoft 365はさらに、Power Automateというアプリに「RPA」機能も追加されました。様々なサービスを組み合わせで行っていた仕組みが、ある程度Microsoft 365だけで組めるようになってきたのは、コスト的にも非常に魅力的です。今後も、Officeは利用していくことと思います。せっかくもっと便利に利用できる仕組みがあるのですから、この機会に是非ご検討いただき、インフィニティまでご相談ください！

Windows 11 登場



Let's
TRY Windows11

2021年10月5日にWindows11がリリースされました。一番の変更点としては、ウィンドウなどのデザインが刷新されたことです。他には、Androidのアプリが使えるようになったり、タスクバーから通話やチャットがすぐに使えるようになりました。

◆Windows11概要

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11>

◆特徴と使い方

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/features>

Windows11にも、これまでのWindows同様、HomeとProがあります。基本的な考え方としては、家庭で使うためにはHome、仕事で使う場合はProとなります。

◆HomeとProの違いはこちら

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/compare-windows-11-home-vs-pro-versions>

✓注意したいマイクロソフトアカウント

用途に違いはありますが、Proは価格が高くなるため、仕事で使う場合でもHomeを購入する場合があります。**Homeを購入した際に注意が必要なのは、マイクロソフトアカウントが必須になることです。マイクロソフトアカウントを使うことで、複数のパソコンでの環境が同期されるようになります。**

例えば、共有のパソコン（会議でプレゼンに使う用など）の設定に、自分のマイクロソフトアカウントを使ってしまうと、自分のパソコンの環境が同期されてしまいます。

Homeでもマイクロソフトアカウントを使わないで初期設定を行う方法もあるようですが、自己責任となりますので、細心の注意が必要です。

コロナ禍から、在宅勤務を含めたテレワークが増え、会社がノートパソコンを支給することも多いと思います。会社側で初期設定を完了してからの支給であれば問題ないですが、個人で初期設定からさせる場合には、HomeよりProの方が無難かもしれません。

インフィニティでは、現在Windows11におけるオフィスクラウドの利用テストを行っております。十分にテストを行わせていただいた上で、問題がないことが確認出来次第、お客様にもご案内させていただく予定です。

2022

Jan.

i SHARE

編集・制作

安藤 玲子

あとがき – Editor's Note

あけまして、おめでとうございます。
なんだか、あっという間に2021年が終わってしまいました。私は、コロナで外出もしないうえ、在宅勤務でこれまで1日300歩程度しか歩いていませんでした。さらに、10月の健康診断の結果にびっくりし、最近、ウォーキングを始めました。1日1万歩を目標に頑張っています。1万歩を達成するには、6.5キロぐらい歩かないといけません。すでに1か月以上続いているのですが（雨の日はお休みです）、もう、東西南北全方向に歩いてしまって、歩く方向がなくなってきました。今は、細い裏道などを半分迷子になりながら歩いています。11月1か月続けただけで、2020年の平均を超えることができました。普段は通らない道を歩くと色々な発見があって面白いなと思います。ただ、歩くのが夜なので、不審人物感満載です。不審感を除くために、犬を飼いたいなあって思ったりしている今日この頃です。

今年は、健康になります！！目標、健康診断、総合評価B！